

～教育委員会ニュース～

今、学校園がおもしろい NO. 6

2014年7月18日

発行：泉佐野市教育委員会学校教育部

「心をひとつに」

～北中小学校～

6月1日（日）に、北中小学校運動会が行われました。照りつける太陽のもと、児童会役員を先頭に、堂々とした入場行進から始まりました。

開会式の“運動会の歌”では、紅白ともに「あーか、あかあかヤッホッポー！」「しろろ、しろろヤッホッポー！」の大合唱。子どもたちのやる気がみなぎった歌声が印象的でした。

競技に入り、ラジオ体操の後は全児童による“大玉おくり”。頭上を運ばれていく大玉に、勢いを与えるべく一生懸命触れようとする子どもたち。落ちたり転がったりする大玉の様子に、ため息と歓声が入り混じる、緊張感のある時間が流れました。第3戦までもつれこむ接戦となりましたが、結果は白組の勝利。開会式での合唱の勢いそのままに、熱戦がスタートした瞬間でした。

その後も、運動会テーマの通り『心をひとつに』した競技と演技が行われ、練習の成果が十分に発揮されました。



「保護者、地域と共に運動会」

～佐野台小学校～

6月1日（日）に佐野台小学校で運動会が行われました。

紅白の力強い応援合戦の後、競技がスタートしました。騎馬戦では紅白より一騎ずつ運動場の真ん中に出てきて勝負しました。一瞬の差で帽子を取ったり、取られたり、の白熱した戦いが展開されました。

「巨大バトンにご用心!!」では3・4年生が保護者と一緒にリレーを行いました。ユニークなのはバトンで一人では持ちきれないほどのとても大きなものでした。保護者と子どもの二人で一緒に抱えて走っていました。また、5・6年生による「棒引き」は、子どもと保護者の対決ということで、保護者からは「手加減なし!」のメッセージが送られるなど、両者とも気合い十分。1戦、2戦とも保護者チームの圧勝でした。そこで特別に設けられる「佐野台ルール」では、子どもたちのスタートラインが一步ずつ前へ。これも運動会ではお馴染みとなり、会場が一体となり、競技を楽しむことができました。借り物競争はたてわり班での競技で低学年の子どもたちが高学年の児童と協力して、さまざまなものを会場から借り、なかには「校長先生」という札もあって、一緒に走っている姿はなんとも微笑ましいものでした。

そして、この日一番の見どころでもある4～6年生による「組体操～友情と団結☆～」では、この演技のタイトル通り、子どもたちが日ごろから育てている友情をもとに一つのものをつくりあげている姿に佐野台小学校の団結力が感じられました。技の完成に併せて、会場から惜しみない拍手が送られていました。

日頃から学校を中心に保護者、地域が一体となっていることが分かる運動会で、観ているこちら心もあたたかくなる運動会でした。



「熱中フォーラム開催!!」

～第三中学校・新池中学校・長南中学校～

7月5日（土）エル・おおさか（大阪府立労働センター）において、大阪府内や滋賀県、愛媛県の中学生が集まって、「第20回 熱と光を 中学生フォーラム」（主催：大阪府人権教育協議会）が開催されました。今年のテーマ「心をひとつに無限の輪を広げよう」を合言葉に、中学生の熱いメッセージと実践交流が発表されました。泉佐野市からは第三中学校・新池中学校・長南中学校が参加しました。

オープニングの各校アピールでは長南中学校は障がい者施設訪問のことを、新池中学校はお昼の放送活動のことを、第三中学校は週1回のさわやか清掃のことをそれぞれ発表しました。また、第三中学校は分科会で発表もしており、「インターネットと人権」というテーマで発表しました。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の危険性を3つの分かりやすい寸劇で紹介していました。発表後には他の中学校との意見交流や自分たちの中学校の取り組みなどが積極的に話し合われ、熱気も冷めやらぬ中、閉会しました。

この経験が、子どもたちにとって将来の自身の支えになり、また、社会を支える力へ変わっていくと感じられる姿がそこにありました。

